

福島復興を祈り ヒマワリの種まく

中津「竹馬会」

中津市三光佐知の地域おこしグループ、竹馬会（豊武富夫会長）が地区内の畑でヒマワリの種まきをした。栽培を通じて東日本大震災の被災地を支援する「福島ひまわり里親プロジェクト」の一環で8回目。

咲き誇る大輪の花を思い、復興を祈りながら笑顔で作



一列になって種まきをする参加者＝中津市三光佐知

業を進めた。

同会員のほか、地域住民ら約60人が参加。相良卓紀事務局長（62）が「いまだに5万人以上の人が避難生活をしている。みんなで支援をしよう」とあいさつ。約30坪の畑に参加者が一列に並び、5千粒をまいた。

8月上旬ごろに開花予定。一部は鉢植え栽培し、大分空港に展示する。収穫した種は福島へ送り、観光地で栽培したり、ひまわり



油として燃料に活用したりするという。

沖代小学校2

年の川野大雅君（7）＝顔写真＝は「大きな花が咲くのが楽しみ」と話していた。